

3-9 将来へ向かって

価値観
(勤労観・職業観)

1. 題材設定の理由

卒業を目前に控え、生徒たちは、自分を待ち受けている新しい出発に対して、様々な期待と緊張が続く毎日である。これまで中学3年間を通して、自分自身が進路決定に至るまで、多くのことを学び、悩み、苦しみながら親、教師、仲間の助言や励ましなどを通して、自分自身で最終決定をしてきた。こうした進路決定の過程を振り返りながら、やがてやってくる新しい人生を踏み出す自分なりの決意を固めさせたい。

また、新しい生活に真剣に立ち向かう具体的な姿勢づくりの大切さに気づかせていきたい。

2. 指導のねらい

中学校生活を振り返り、互いの進路設計、進路決定までの努力を認め合い、新しい進路に向かって、自信と希望をもち、ひとりだちしていけるようにさせる。

3. 指導計画（全1時間）

事前	・進路決定までの「自分の歴史」をまとめておく。 ・個別相談（進路決定、進学就職指導、悩み）
本時	・3年間の中学校生活を振り返らせ、進路決定までの経過をたどらせる中で、自分の人生設計を確認させ、新しい進路に立ち向かっていく意欲を確かめる。
事後	・卒業式当日の最後の学級活動につなげる。

<説話例>

いよいよ卒業を迎え、進路が決定し、心をはずませている仲間もいれば、受験を周近に控え不安な気持ちでいっぱいな仲間もいることだと思います。

ここでもう一度、自分の目標・目的を再確認しておきましょう。それは、これからみなさんが歩いていく長い人生という道のスタートラインに、現在みなさんが立っているからです。「何のために高校へ行くのか」「就職先での自分の役割は何か」、これが薄れてしまっただけで、今までの進路に対する情熱が無になってしまうからです。

「わたしは、ほくは、このように生きていくのだ。」という確固たる心構えをもつことが必要です。それに加えこの先、生じるであろう諸問題に対しても、自らの力でこれを乗り越えてほしいと思います。そして、将来の進路を真剣に考え、社会において、自分がめざすものは何かを見い出してください。

4月の入学、入社までの生活にも十分気をつけ、充実した生活が送れることを望んでいます。

これからがスタートだ！ ガンバレ！！

	活動のねらい	活動の内容	指導・援助の留意点	資料等
はじめの活動	・進路決定に至るまで自分の言葉でつづることができる。	◎自分自身が進路決定に至るまでに特に心を動かされたことをまとめる。	・進路決定に至るまでの自分・仲間との関わりなどをたどらせる。	・資料 「生活記録 作文」など
課題：進路決定に至るまでを振り返り、将来に向かっての決意を固めよう。				
中心の活動	・これから先、心掛けていくことを資料から見つけ出し、考えをまとめることができる。	◎進路決定までに心を動かされたことを発表する。 ・仲間、親、先生との話し合いから。 ・進路情報や「高校一日入学」などで影響を受けた。 ・将来に就きたい職業があるので、最後まで夢をあきらめないためにもこの進路を頑張ってきた。 ◎卒業後、心掛けていくことを自分なりにまとめて発言をする。 ・これまでの取り組みを大切にしながら自分の夢を実現させていくことは、大切なんだ。 ・何か1つのことに打ち込むことが必要だ。 ・将来のために今やらなければならないことを明確にして、努力をしなければならない。	・仲間の様々な考え方に賛同できるよう助言する。 ・資料から、主人公の決意を見つけ出せるよう助言する。	・P.58の資料または生き方に関わる感動的な資料を選んでいきたい。
まとめの活動	・自分の決意、生き方についての考えを盛り込んで、仲間へのメッセージを書くことができる。	◎卒業にあたってのメッセージを書いてみる。間近にせまっている卒業に向けて、どうしていけばいいのかまとめる。 ・わたしは○○になりたい。しかし、今のわたしは……だから～していきたい。	・具体的に誰にあてて書くのかを決めさせておく。 (保護者、兄弟、友達、後輩……)	